

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY+防府東校		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 7日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 7日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様のその日のコンディションやカリキュラム内容に応じて、個別での療育、集団での療育両方を取り入れている事。	集団でのカリキュラムと個別でのカリキュラムにそれぞれのお子様の個別支援計画に沿った課題を取り入れるよう工夫している。	引き続き両方の療育を取り入れていくことを継続し、状況に応じてその日のカリキュラムを組んでいく。
2	個々の職員が一人一人のお子様の支援に携われるようにしている事。	お子様の療育担当を職員でローテーションを行い、幅広い意見や視点から見ることができるようになっている。全てのお子様と信頼関係が築けるよう、どのお子様担当になっても円滑に療育が行えるよう日々職員間で共通認識を図っている。	療育終了後は、記録を取るだけでなく、より良い療育に繋がるよう職員同士で改善策を考えたり、次に繋げられるよう申し送りを密に行ったりして話し合いの場を設けていく。
3	SNSを通じて日頃のお子様の様子や、療育の様子の発信を行っている事。	月に2～3回程事業所の公式インスタグラムにてその月の取り組みや、製作したもの、集団療育の様子などを掲載している。保護者の方には承諾を得た上で掲載している。	インスタグラムのストーリー機能を活用しながらタイムリーに投稿することや、その時の取り組みを早めに掲載できるようにしていく。お知らせ等や事業所からのお願い等も投稿していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者個人個人との関りはあるが、保護者会や父母の会などの全体の会は開催できていない事。	開所して間もなくは、本事業所の取り組みとして前例がなかったため。	年度末で退所予定のお子様、保護者を対象に卒業イベントの開催を検討していく。前例がないため、参加人数の集計、駐車場の確保、室内の環境整備等の事前準備など想定されることを、職員間で話し合い、計画していく。年度末だけでなく、少しずつ保護者とお子様に参加できる行事等も検討していく。
2	児童発達支援管理責任者が欠如している事。	急な退職となり、後任者が見つかっておらず、みなしの児童発達支援管理責任者が配置できないため。	求人等で呼びかけ、早急に配置できるようにしていく。
3			